



～開通から1年～ 一般国道101号 五所川原西バイパス



日常生活や産業活動の
時間短縮効果が実現の

地域の安全・安心な暮らしを支える
「命の道」

一般国道101号五所川原西バイパス（延長3.8km）が平成26年11月3日に全線開通し、1年が経過しました。

開通1年後の交通状況としては、五所川原西バイパスの交通量が約5,500台となり、並行する国道・県道では五所川原西バイパスの利用により交通量が1,800台/日減少、また、五所川原市街地の旅行速度も20Km/h未滿が18%から14%へ減少し、姥蕨交差点と田町東交差点の渋滞が解消するなど、**利用者の約7割が「移動時間の短縮」を実感**し五所川原西バイパスへ利用交通が転換、市街地の混雑が緩和されている状況です。

更に「つがるブランド（スイカ、メロン他）」を中心とした新鮮な**農産物の効率的で安定した輸送が可能**となり、青森県産メロンの東京市場での取扱量のシェアが増加（H23⇒H27 1.6倍）、ブロッコリーの出荷量や販売単価が年々増加し、平成27年は過去最高を記録するなど、新鮮な農産物「つがるブランド」等を全国へ安定的に輸送するストック効果も発揮されております。

また、「県立中央病院」への迅速で安定した救急搬送を支援し**地域の安全・安心な暮らしを支える命の道としての役割**も果たすなど、様々な効果をもたらしています。

開通1年後の整備効果について平成27年12月25日付け記者発表資料に詳しく紹介されておりますので皆様是非ご覧ください。